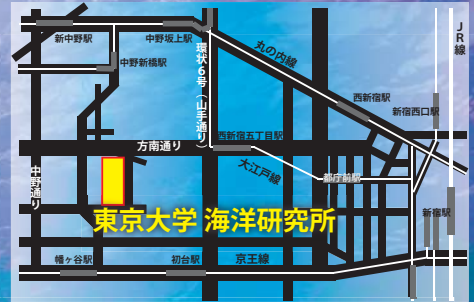


全国共同利用研究成果発表会



日時：平成 22 年 1 月 6 日 (水) 9:30 ~ 17:00
 会場：東京大学 海洋研究所 (A 棟 大講義室)

〒164-8639 東京都中野区南台 1-15-1 URL: <http://www.ori.u-tokyo.ac.jp/>

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通じ、地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として設立された全国共同利用研究施設です。この研究成果発表会は、広く全国の皆様に今年度の研究成果をご紹介します。

プログラム

- 9:30-9:40 開会挨拶 (センター長 渡邊 巖)
 全国共同利用委員会委員長挨拶 (東京大学海洋研究所 教授 徳山 英一)
- 9:40-10:40 (1) 「グリーンランド南西部で採取した始生代貫入岩の古地磁気強度」 関 華絵 (神戸大), 山本 裕二 (高知大), 三木 雅子, 乙藤 洋一郎 (神戸大)
 (2) 「大分県津久見市に分布する赤色チャートの古地磁気」 瀧見 紗希, 宇野 康司 (岡山大), 尾上 哲治 (鹿児島大)
 (3) 「高知県唐ノ浜層群穴内層陸上掘削コア ANA-2 の古地磁気層序 -U-channel 試料と discrete 試料の比較-」
 佐々木 智弘 (岡山理大), 下野 貴也 (筑波大), 鳥居 雅之 (岡山理大), 小玉 一人, 山本 裕二 (高知大)
 (4) 「鉄マンガンクラストに含まれる磁性鉱物の同定」 小田 啓邦, 宮城 磯治 (産総研), 山本 裕二, 白井 朗, 橋本 善孝 (高知大)
- 10:55-11:55 (5) 「琵琶湖湖底, 極表層堆積物の岩石磁気学的特性」 石川 尚人, 浅見 智子, 谷川 喜彦 (京都市大), 石川 可奈子 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
 (6) 「広域テフラの岩石磁気学的対比のための基礎的研究」 鳥居 雅之, 中原 佑正 (岡山理大), 藤井 純子, 中島 正志 (福井大), 山本 裕二, 小玉 一人 (高知大)
 (7) 「北大西洋海底掘削コア試料の古地磁気記録 (2.1-2.8Ma)」 大野 正夫 (九州大)
 (8) 「マツママーブリュヌ地磁気逆転期の多数の小反転」 兵頭 政幸 (神戸大), 楊天水 (中国地質大), 楊振宇, Li Huidi (中国地質力学研究所), 前田 誠 (神戸大)
- 昼休み -----
- 13:00-14:00 (9) 「南海トラフ高角逆断層および陸上付加体に発達する過去の地震断層における摩擦発熱の痕跡」
 廣野 哲朗, 濱田 洋平, 本多 剛 (大阪大), 石川 剛志, 谷川 亘 (JAMSTEC), 池原 実 (高知大)
 (10) 「太古代-原生代初期における海洋底の地層について. 32 億年 (豪・ビルバラ, 南ア・バーバートン), 20 億年 (ガーナ・海岸グリーンストーン・カナダ・フリントフロン) の例」
 清川 昌一 (九州大), 伊藤 孝 (茨城大), 池原 実 (高知大), 山口 耕生 (東邦大), 坂本 亮 (九州大), 菅沼 悠介 (極地研)
 (11) 「DXCL 掘削の成果: 層序の特徴と黄鉄鉱の硫黄同位体比」
 坂本 亮, 清川 昌一, 奈良岡 浩 (九州大), 伊藤 孝 (茨城大), 池原 実 (高知大), 山口 耕生 (東邦大), 細井 健太郎 (高知大), 宮本 弥枝 (茨城大), 菅沼 悠介 (極地研)
 (12) 「薩摩硫黄島長浜湾における熱水活動と鉄沈殿作用」
 永田 知研, 清川 昌一 (九州大), 後藤 秀作 (産総研), 二宮 知美 (シュルンベルジュ株式会社), 伊藤 孝 (茨城大), 池原 実 (高知大), 山口 耕生 (東邦大), 小栗 一将 (JAMSTEC)
- 14:10-15:25 (13) 「千年規模の解像度で求めた蝦夷層群の炭素同位体比変動とその意義」 富永 嘉人, 長谷川 卓 (金沢大)
 (14) 「最終氷期から完新世にかけての北海道南東沖の海洋環境変動」
 大串 健一 (神戸大), 池原 実 (高知大), 内田 昌男 (国立環境研), 阿波根 直一, 木元 克典 (JAMSTEC), 団塚 直人, 安沢 太一, 浅野 悠太郎, 吉井 博彦, 下田 翔 (神戸大)
 (15) 「ベーリング海及び北太平洋亜寒帯域における浮遊性有孔虫炭素同位体比時系列変化」 朝日 博史 (東京大), 岡崎 裕典 (JAMSTEC), 池原 実 (高知大), 高橋 孝三 (九州大)
 (16) 「ニュージーランド深海堆積物における三疊紀古世海洋環境イベントの解析」 堀利栄 (愛媛大), 小玉 一人, 池原 実 (高知大), 山北 聡 (宮崎大), 相田 吉昭, 酒井 豊三郎 (宇都宮大), 竹村 厚司 (兵庫教育大), 鎌田 祥仁 (山口大), 鈴木 紀毅, 高橋 聡 (東北大院), K. Bernhard Spörli (Univ. Auckland, N.Z.)
 (17) 「脳容量と脳幅の関係から見る鳥類及び哺乳類における脳形態」 河部 壮一郎, 下川 哲也, 三木 均, 岡本 隆, 松田 正司 (愛媛大)
- 15:35-16:50 (18) 「下北沖 CK06-06 コアの微化石層序・酸素同位体層序にもとづく年代モデル構築」
 堂満 華子 (滋賀県立大), 内田 淳一 (応用地質 (株)), 大金 薫, 川手 友美子, 尾田 太良 (東北大), 池原 実 (高知大)
 (19) 「南海トラフ掘削における微化石解析」 西弘嗣, 田中 章介 (北海道大), 林広樹 (島根大), 池原 実 (高知大)
 (20) 「造礁性サンゴ骨格中の酸素・炭素同位体比を用いた中緯度温帯域における環境復元」 島村 道代, 河村 卓, 渡邊 剛 (北海道大)
 (21) 「IODP Expedition 310 で得られたタヒチ化石サンゴの骨格記録に基づいた南太平洋における過去約 2 万年間の海洋環境変動復元」
 浅海 竜司 (琉球大), T. Felis (Bremen Univ.), P. Deschamps (CEREGE), 花輪 公雄 (東北大), 井龍 康文 (名古屋大), E. Bard, N. Durand (CEREGE), 村山 雅史 (高知大)
 (22) 「太古代 DXCL 掘削計画の黒色頁岩試料から読み解く約 32 億年前の海洋の窒素循環について」 山口 耕生 (東邦大), JAMSTEC プレカンラボ, NASA Astrobiology Inst., 山田 晃司 (東邦大), 細井 健太郎 (高知大), 坂本 亮 (九州大), 池原 実 (高知大), 伊藤 孝 (茨城大), 清川 昌一 (九州大)
- 16:50-16:55 閉会挨拶 (副センター長 小玉 一人)

*全国共同利用研究は、独立行政法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の協力を得て実施されています。